

平成 28 年 11 月 2 日

原発被災地復興シンポジウム「帰還後の生活保障体制の整備に向けて」
(福島大学行政政策学類・早稲田大学東日本大震災復興支援法務プロジェクト共催)

福島大学行政政策学類と早稲田大学東日本大震災復興支援法務プロジェクトは、原発被災地復興シンポジウム「帰還後の生活保障体制の整備に向けて」を下記のとおり共催いたします。本シンポジウムは、原発被災地における各自治体の帰還後の医療・福祉・介護体制の整備を中心的なテーマとして行われるものです。

参加費は無料で、一般の方も参加できます。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ事前の周知・宣伝および当日の取材方をよろしくお願い申し上げます。

記

◆日時：2016年11月5日（土）13時～17時30分

◆場所：福島大学 M棟1階M2教室

◆内容

・開会挨拶

13:00 福島大学行政政策学類長 久我和巳

・趣旨説明

13:05 早稲田大学大学院法学研究科長 菊池馨実氏

・第1部 「相双地域の現状－自治体の現場から－」

13:10～13:30 浪江町介護福祉課長 佐藤祐一氏

13:30～13:50 楡葉町住民福祉課長 松本智幸氏

13:50～14:10 富岡町健康福祉課介護保険係長 原田恵美氏

(14:10～14:20 休憩)

- ・ 第 2 部 「相双地域の課題－研究者の視点から－」
 - 14 : 20～14 : 45 「長期避難者の住民としての二重の地位について」
早稲田大学教授 人見剛氏
 - 14 : 45～15 : 10 「震災復興と賠償問題」
早稲田大学教授 須網隆夫氏
 - 15 : 10～15 : 35 「避難区域と住宅セーフティネット」
福島大学准教授 西田奈保子
 - 15 : 35～16 : 00 質疑応答
 - (16 : 00～16 : 15 休憩)
- ・ 第 3 部 「シンポジウム：帰還後の生活保障体制の整備に向けて」
 - 16 : 15～17 : 30
シンポジスト（予定）：行政担当者（復興庁・福島県・浪江町・
檜葉町・富岡町）、猪飼周平氏（一橋大学教授）など

(当日の会場案内)

- ・ <http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/campusmap/index.html>
(キャンパスマップ 11 番)
- ・ 東北本線金谷川駅（福島駅より所要時間 10 分）徒歩約 10 分
- ・ 駐車場利用可
(駐車券をお持ちになって会場にお越しください。無料処理をいたします)
- ・ <http://www.fukushima-u.ac.jp/new/18-koutu/index.html> (交通アクセス)

ご不明な点等ございましたら、下記担当までお知らせください。

(お問い合わせ先)
行政政策学類准教授 長谷川珠子
電話：024-548-8322